

平成二十五年
いのち

生命の言葉

十一月

朝よひに物くふごとくに豊宇気の
神のめぐみをおもへ世のひと

本居宣長

裏面もご覧ください。

十一月
生命の言葉

朝も夕も食べ物をいただくたびに、食べ物の神様である豊受大神の恵みに感謝すべきである。

出典『玉鐙百首』

本居宣長（もとおりのりなが）

一七三〇～一八〇一年。江戸時代の国学者。地元・伊勢松阪で医師をするかたわら古事記の注釈書『古事記伝』を著すなど、純粋な日本独自の文化を研究する学問「国学」を大成した。

小雪の候ご参拝の皆さまの願い事はきつと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮